

テラ
TERA

残コンクリート改良剤

残コンクリート改良剤 TERA(テラ)

残コンクリートを産業廃棄物にしない！

短時間での作業！

現場環境保全が可能！

- ◆圧送作業処理後のコンクリートポンプ車に残ったコンクリートを碎石状態にする事で産業廃棄物を削減
- ◆現場場外への運搬が不要になり産廃法及び過積載による道路交通法令違反が無くなる
- ◆碎石化した残コンクリートを RC 材として現場駐車場に散布または水たまり箇所の埋め立て利用可能
- ◆ホッパー周り洗浄後の強アルカリ水の量を大幅に削減、現場環境が保全される
- ◆コンクリート輸送管内での閉塞時の解除困難な場合に使用する事でポンプ車内の生コンクリートの硬化を回避可能
- ◆型枠などの破損による生コンクリート流出箇所にテラを散布する事で処理に人手をかける必要がなくなります

取扱い注意事項

• 湿気のない場所で保管して下さい

未開封の状態ですら2年は保管可能です。出来るだけ湿度のない屋内で保管をお勧めします。乾燥剤と一緒に保管するとより効果的です。

• 1袋で処理可能なホッパー内残コンクリートは、約 0.35m³ ~ 0.4m³ 程度です

• 開封後は、残すことなく全量を使用して下さい

1袋 (780g) を全てホッパー内に散布使用して下さい。使用目安は上記数量を基準にして下さい。

• ホッパー内の攪拌装置のブレードなどに若干の摩耗はありますが大きな影響はありません

• 攪拌後にホッパーから排出した残コンクリートは、出来るだけ薄く広げてならして下さい。

• ホッパーから排出した際にテラと残コンクリートがよく混ざっていない部分はその箇所を広げてならす時に混ぜるようにして下さい。

• 雨天時には、特によりならして下さい。水分が少ない方が良好な状態になります。

• 現場によっては、土のう袋などに排出した残コンクリートを詰める作業は圧送業者が行わず現場の管理者に作業者の選定を依頼、確認して下さい。

• 排出した残コンクリートを RC 材、埋戻材または現場内の不整地修整などに使用する場合は現場管理者の判断によるものとします。

使用方法

- ① 打設終了後のホッパー内にテラを散布
- ② 攪拌羽根とSパイプ逆転運転でテラと約3分練り混ぜる
- ③ バルブを開け排出
- ④ 土壌へのならし作業で完了



特徴

※従来品の処理剤と比べて処理後の物質がベタベタしません。極めてサラサラになります。

ベタつきが無いのでレーキでの作業が楽になります。また、ホッパーへのベトつきも少なく洗浄が容易です。更なる洗浄水の削減を実現します。

※従来品のように六価クロムの溶出を固化作用に頼るのではなく、無害化成分を配合しているため瞬時に六価クロムを無害化出来ます。

※今までの処理剤は、急結剤として劇物であるアルミン酸ナトリウムが使用されていましたが、テラは劇物を使用していません。

テラ使用後の土壌分析結果

分析結果報告書

タケ・サイト株式会社 御中

報告書番号 18-4000-0514 号

発行年月日 平成 30 年 7 月 19 日

残コンクリート改良剤(TERA)使用コンクリート土壌 分析結果報告書

試料名	土壌(再生骨材・生コンクリート改良品)	分析期間	平成 30 年 7 月 9 日 ～ 平成 30 年 7 月 19 日
採取日	—	採取者	—
採取場所	—		

ネオネット環境コンサルタント株式会社
計量証明専業登録/山形県知事 第 32 号
〒992-0119
山形県米沢市アルカディア1丁目 808-17
TEL 0238-29-0025
計量管理者氏名 漆山 保

溶出試験

No.	分析項目	単位	分析結果	基準値	分析方法
1	クロロエチレン	mg/L	N.D.(0.0002 未満)	0.002 以下	H9 環告 10 号付表
2	四塩化炭素	mg/L	N.D.(0.0002 未満)	0.002 以下	JIS K 0125 5.2
3	1,2-ジクロロエタン	mg/L	N.D.(0.0004 未満)	0.004 以下	JIS K 0125 5.2
4	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	N.D.(0.01 未満)	0.1 以下	JIS K 0125 5.2
5	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	N.D.(0.004 未満)	0.04 以下	JIS K 0125 5.2
6	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	N.D.(0.0002 未満)	0.002 以下	JIS K 0125 5.2
7	ジクロロメタン	mg/L	N.D.(0.002 未満)	0.02 以下	JIS K 0125 5.2
8	テトラクロロエチレン	mg/L	N.D.(0.001 未満)	0.01 以下	JIS K 0125 5.2
9	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	N.D.(0.1 未満)	1 以下	JIS K 0125 5.2
10	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	N.D.(0.0006 未満)	0.006 以下	JIS K 0125 5.2
11	トリクロロエチレン	mg/L	N.D.(0.003 未満)	0.03 以下	JIS K 0125 5.2
12	ベンゼン	mg/L	N.D.(0.001 未満)	0.01 以下	JIS K 0125 5.2
13	カドミウム及びその化合物	mg/L	N.D.(0.001 未満)	0.01 以下	JIS K 0102 55.2
14	六価クロム化合物	mg/L	N.D.(0.005 未満)	0.05 以下	JIS K 0102 65.2.3
15	シアン化合物	mg/L	不検出(0.01 未満)	検出されないこと	JISK0102 38.3
16	水銀及びその化合物	mg/L	N.D.(0.00005 未満)	0.0005 以下	S46 環告 59 号付表 1
17	アルキル水銀化合物	mg/L	不検出(0.00005 未満)	検出されないこと	S46 環告 59 号付表 2
18	セレン及びその化合物	mg/L	N.D.(0.001 未満)	0.01 以下	JIS K 0102 67.2
19	鉛及びその化合物	mg/L	N.D.(0.001 未満)	0.01 以下	JIS K 0102 54.2
20	砒素及びその化合物	mg/L	0.001	0.01 以下	JIS K 0102 61.2
21	フッ素及びその化合物	mg/L	0.37	0.8 以下	S46 環告 59 号付表 6
22	ホウ素及びその化合物	mg/L	N.D.(0.1 未満)	1 以下	JIS K 0102 47.1
23	シマジン	mg/L	N.D.(0.0003 未満)	0.003 以下	S46 環告 59 号付表 5 第 2
24	チオベンカルブ	mg/L	N.D.(0.002 未満)	0.02 以下	S46 環告 59 号付表 5 第 2
25	チウラム	mg/L	N.D.(0.0006 未満)	0.006 以下	S46 環告 59 号付表 4
26	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	mg/L	不検出(0.0003 未満)	検出されないこと	S46 環告 59 号付表 3
27	有機燐化合物	mg/L	不検出(0.01 未満)	検出されないこと	S49 環告 64 号付表 1
28	1,4-ジオキサソ	mg/L	N.D.(0.005 未満)	0.05 以下	S46 環告 59 号付表 7

備考 検液作成方法：H3 環告 46 号 土壌の汚染に係る環境基準について 付表 による。
分析の結果が「N.D.」の場合は、定量下限値未満を示す。
基準：H3 環告 46 号 土壌の汚染に係る環境基準について 別表 による。



※処理完了後の状態

商標登録出願中
特許出願中

問い合わせ・購入について



タケ・サイト株式会社

静岡市駿河区敷地 1-3-35

TEL 054-237-6717

FAX 054-237-6189

HP www.takecite.technology

